

必ず、起きる災害に向けて

テーマ

防災

私たちの記憶に新しい、能登半島地震。
能登からの学びの1つが「平時から地域全体が連携して防災を考える重要性」

東海ヒトシゴト図鑑を軸とした企業コミュニティでも
防災の推進に活かしていきたいという想いでこの勉強会を企画しました。
東海地域では南海トラフ地震も予測されている今から動いてみませんか？

災害対応の準備は
必要だが…
何から
動き始めたら良い？

防災は企業として
大事だけれど
優先して
進められていない

防災分野を
地域の人や
若者たちと一緒に
取り組みたい

共催

岐阜大学
社会システム経営学環
教授



高木 朗義 氏

岐阜大学 工学部 社会基盤工学科 教授（兼任）

専門：まちづくり（土木計画学）

防災関連の活動

- ・アプリ「減災教室」を用いた企業防災支援
- ・「減災教室トランプ」を用いた防災教育
- ・FM岐阜 MORNING SPLASH「防災ワンポイントレッスン」（平日毎朝放送）
- ・岐阜県および市町村「防災リーダー育成講座」

7/18 木

16:00-18:00

同時開催
岐阜駅前
&
オンライン

申込はこちら

内容

- ・災害発生時に「行政」「地域コミュニティ」だけでは対応しきれないこと
- ・企業の防災・減災の取り組み「業助」の重要性、必要性
- ・BCP（事業継続計画）について
- ・企業が社員・職員の災害への備えを促進する方法、その調査結果
- ・就業世代の防災、コミュニティについて、など



【受入企業募集中】「防災×まちづくり」プログラム

共同主催：東海ヒトシゴト図鑑（NPO法人G-net）、岐阜大学 高木教授

防災×まちづくりプログラム 参加企業募集

東海ヒトシゴト図鑑 × 岐阜大学社会システム経営学環 高木教授 共同開催

実施概要

実施回数	1期目	2期目
実施期間	25年4月～25年7月	25年10月～26年1月
参加学生	岐阜大学社会システム経営学環3年生 4名	
活動頻度	打ち合わせ（全6回・現地orオンライン）、学生自身の活動時間	

今回、東海ヒトシゴト図鑑では防災を専門とされている「岐阜大学社会システム経営学環」の高木教授、そして学生と共に「防災×まちづくり」のプログラムを実施します。この連携プログラムを活用し、地域企業の防災に関する課題解決に向けた事業推進や、学生との接点づくりに取り組みたい企業を募集します。

なお、本取り組みは大学を含め、財源がない取り組みとなります。

そのため、企画・調整・運用にかかる費用の一部を参加企業の皆様にもご負担をお願いしています。

パターンA 中期インターンシップ 自社の防災企画を学生と進める！

内容	企業のオリジナル防災プロジェクト推進 例：防災関連商品の企画、販促イベント 複数企業出展の防災グッズマルシェ、非電キャンプの開催など
価値	プロジェクト設計をNPO法人G-netのコーディネーターが一緒に行い 中期のインターンシップを実施。 学生と共に事業の推進、課題解決や促進を行う。
募集企業数	1期目1社・2期目1社（合計2社予定）
費用負担	東海の経営力向上委員会 20万円（税別） / 一般 40万円（税別）

パターンB イベント参加 防災×まちづくりに関心のある学生と出会える！

内容	学生が企画した防災プロジェクトへのスポット参加 例：企業向け防災勉強会への参加、能登ボランティアツアーへの参加など
価値	防災×まちづくりに関心のある学生との出会い 防災活動への企業としての参加、CSR活動としての参加
募集企業数	各回、上限なし
費用負担	東海の経営力向上委員会 3万円（税別） / 一般 5万円（税別）

お問い合わせ：東海ヒトシゴト図鑑事務局 NPO法人G-net
電話：058-263-2162 メール：info@hitoshigoto-zukan.jp